

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

JP HDグループ 障害者雇用の取組み

～手作りおもちゃ制作センター「スマイル工房」では、障害者の活躍の場拡充とスキル向上を応援しています～

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスのグループ企業である日本保育サービスでは、障害者が自身の得意な分野を生かして活躍できる制作センター「スマイル工房」を2017年10月より開設しています。スマイル工房では、こどもの発達に合わせたおもちゃを手作りしており、制作したおもちゃはJPホールディングスグループが運営する全国の保育園に届けられ、日々の保育の中で保育士の負担を軽減し、保育の充実を支援する役目を担っています。

◆保育に活用できる手作りおもちゃを制作◆

スマイル工房には、2020年10月現在7名の従業員が就業しており、こどもの発達に合わせた手作りおもちゃの企画・制作を行う他、園からの要望に合わせたおもちゃを制作しています。五感の中でも特に触覚・視覚・聴覚などを育むおもちゃであることをコンセプトに、「洗濯機で洗える素材を使用する」「パーツには誤飲を防止する大きさのものを使用する」「毛玉がでにくい素材を選ぶ」など、安全面にも配慮して制作を行っています。制作した手作りおもちゃは、当社グループが運営する全国200ヶ所以上の保育園に届けられており、既製品にはない温かみが、こどもたちだけではなく保育士や保護者にも好評です。



【スマイル工房で制作されたおもちゃの一例】

◆保育現場との関わりを通じて、障害者の職業的自立と社会参加を支援◆

障害者の中には、特性や周囲の理解不足などにより、自分らしく力を発揮できず、職場で働きづらいという悩みを抱える人もいます。スマイル工房では、2名のコーディネーターが各従業員の相談に乗りながら、一人ひとりが無理せず働くことができるよう支援しています。

また、おもちゃをもらった保育園からお礼の電話や手紙が届いたり、制作したおもちゃが実際に保育現場でこどもたちの育ちに役立っている様子を見学したりすることで、社会との繋がりややりがいを感じられる場となっています。

こうした環境下で勤務を続けることは従業員の自信にも繋がっています。昨年度までスマイル工房で勤務していた従業員の中には、就業意欲が高まり当社グループの本部職員や自治体の正規職員として採用された従業員もあり、当社グループはスマイル工房の取組みを通じて障害者の社会的自立に向けた支援活動に貢献しています。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響下では、障害者に配慮した在宅勤務体制に初めて取り組みました。職場と異なる環境でも従業員に安心して就業してもらえるよう、定期的な電話連絡の実施や依頼業務の調整などを行い、通常時と変わらない制作量と品質を維持しています。

JPホールディングスグループでは、今後も、全ての人々が働きやすい環境の整備を進めながら、多様な人材の活用を目指すダイバーシティー・マネジメントに取り組んでまいります。

■株式会社 JP ホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証1部上場・証券コード2749）です。運営施設数はグループ全体で303施設となります（2020年4月1日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究・コンサルティングなどを行う株式会社日本保育総合研究所などがあります。

詳細はこちら（<https://www.jp-holdings.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部

広報IR部 都志・牛田・筒場

TEL：03-6433-9515 FAX：03-6455-8032

MAIL：jphd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>